

米産地づくりの強化は

地域ブランド米育成に努力

議員(自民) 商工会・商工会議所は、最近、新規会員が減少し、脱退する会員が増加する一方であり、入会してもメリットがないという声も聞かれる。現状の問題点をどう認識し、支援にはどのような手だてを講じているのか。

知事 経営指導員の指導力の向上や他団体との連携による指導体制の充実に課題である。指導員全てに指導能力開発講座を実施し、また中小企業振興公社のベンチャープラザなどの専門機関との連携指導や複数商工会等の連携で行う創業・経営革新講座への助成など広域連携を促進している。

議員 四月から米の流通規制が大幅に緩和され、生産調整も農業者等の主体的取り組みへ転換された。本県も産地間競争に向け高品質米生産運動を展開しているが、豊作基調の今年から品質・価格両面で熾烈な競争が始まるというも過言ではない。米産地づくり強化にどう対応していくか。

知事 農業改革の意識啓発や生産管理の徹底など高品質米生産運動を引き続き実施する。認定農業者などの担い手支援と生産組織の再編強化を促進する。ほ場の大区画化など生産基盤の確立を支援しリーダー養成に努める。種子更新など高品質な米づくりで新しい活動を展開する産地を支援し高評価を得られる地域ブランド米育成にも努める。

議員 指導員不足教員については、胸を張って再度教壇に立てる方策を継続的に考えなければならぬ。研修の状況及び成果はどのように上がっているのか。

教育長 研修センターでの研修、所属校での実践研修を通して改善の方向に向かう者も出てきている。一人一人の課題や研修成果を踏まえ、それぞれに対応した研修に力を入れ、学校復帰が図れるよう努める。(ほかに、防災対策、交通安全対策、圏央道の整備進捗状況及び今後の見通しなども質問)

少人数指導の今後の展望は

継続へ向けて検討



成果が上がっている少人数指導による授業

議員(民清) 小中学校を対象とした茨城方式の少人数指導の主な財源となっている国の緊急地域雇用特別交付金は今年度が最終年度であり継続が危ぶまれているが今後の展望はどうか。

知事 この事業は成果が上がっており、市町村からも評価されていることから、私としては何とか継続していけないかという思い



イネの刈り取り風景

を強くもっており、財政状況や市町村との役割分担など様々な観点から検討していきたい。

議員 我が国の原子力発電史上最悪の事故となった福井県的美浜発電所の蒸気噴出事故を受けた本県の原子力施設の安全対策はどうか。

知事 今回の事故を踏まえ、県は、東海第二発電所と高速実験炉「常陽」などの試験研究炉の類似配管の点検結果及び健全性評価に関する調査を各事業者に求めた。現在、点検結果について精査しており、今後関係市町村と立入調査を行い、専門家で構成する県原子力安全対策委員会を開催し、点検内容や点検方法の妥当性について確認したい。

議員 現在環境省において地球温暖化対策推進大綱の見直しが進められているが、現大綱での対策がベースとなつている行動計画の見直しを含めて、県は、地球温暖化対策の推進にどう取り組むのか。

知事 年度内に環境省が策定する新たな大綱や県内の温室効果ガス排出量調査の結果を踏まえ、県としても早急に地球温暖化防止行動計画の見直し作業に入りたい。産業や運輸など部門ごとの温室効果ガスの削減目標を数値で示し、ごみ減量化などの取り組みによる効果を具体的に明記するなど実効性の高い温暖化対策の推進に取り組む。また、県民や事業者の模範となるよう県庁エコ・オフィスプランも改定する。(ほかに、少子化対策、介護保険制度の見直しなども質問)

アジア諸港に負けない港を

大型船接岸も可能に

議員(自民) 大型化するコンテナ船に対応し、常陸那珂港をアジア諸港に負けない港として整備するよう願うが、北関東及び東北地域の産業活性化の核としても期待される常陸那珂港の今後の取り組みは。

土木部長 大型ローリー船(岸壁から直接船内へトリーラーなどが乗り入れ貨物を積みおろしする船)が接岸可能な岸壁を整備し、その後大型コンテナ船も接岸できる水深一五メートル岸壁等を整備する。また、中国などの新規定期航路

開設に向け積極的なポートセールスを展開する。

議員 国は、患者に対する保健福祉部長 治験の活性化に積極的に取り組んでいきたい。そのため、本年度は、医療機関や医薬関連企業、大学の関係者からなる治験研究会を設置し、適正で効果的な治験を進めるための体制づくりを行う。

(ほかに、積立基金等の資金管理、政策評価なども質問)



る医薬品の臨床試験(治験)の活性化を促進しようとしている。治験の活性化への県の取り組みは、県民医療の向上、関連企業の発展を導くと考えるが、所見を伺う。

保健福祉部長 治験の活性化に積極的に取り組んでいきたい。そのため、本年度は、医療機関や医薬関連企業、大学の関係者からなる治験研究会を設置し、適正で効果的な治験を進めるための体制づくりを行う。

(ほかに、積立基金等の資金管理、政策評価なども質問)

濁り水質保全計画は

削減対策に数値目標

議員(自民) 現行の濁り水質保全計画には、環境基準達成に向けたプロセスが欠落している感がある。行政・住民・事業者が目標を共有し一体となつて取り組めるよう道筋を示していく必要があるかと考えるが、生活環境部長 次期計画の策定にあたっては、海水の流入による影響などこれまでの調査結果を詳細に解析したうえで、汚濁要因別にCODの

排出量などを把握し、可能な限り削減対策に数値目標を設定する。

議員 桜の郷の整備において、安心・ふれあい・うるおい機能の充実、生き生きとした街の形成に不可欠であり街の魅力の創出にも繋がる。積極的に展開すべきだが、取り組みは、保健福祉部長 住民が安心して暮らせるよう高齢者世帯の見回りなどのサービスを提供するとともに、コミュニティセンターの設置など出会いの場を提供する。また、住宅地内に緑豊かなコモンガーデンを配置するなど景観に配慮する。(ほかに、企業誘致の推進、介護保険と障害保健福祉施策の統合なども質問)(一般質問は4面に続く)



濁りの水質浄化活動